

目的

フードツーリズムの調査研究を通じ、国内外においてその普及と促進を行うものです。

事業

- ① 会員による研究発表会、視察ツアー
- ② 一般対象のセミナーおよびシンポジウム等の企画・開催
- ③ 研究会誌の発行
- ④ フードツーリズムに関する調査、共同研究、委託・連携事業、広報活動等
- ⑤ 会報の発行やホームページによるフードツーリズムに関する情報発信

定例研究会)年間10回の例会を実施予定
会場)大阪府立大学観光戦略研究所「I-siteなんば」など

経緯

本研究会は2008年9月1日に設立された「フードツーリズム研究会」を母体に、2015年4月1日をもって設立しました。

会員特典

- ①「年報」など研究会誌:年1回発行配布
- ②「定例研究会の報告」:メール等で配布
- ③「セミナー」一般対象のセミナーおよびシンポジウム等:参加無料
- ④「視察」ツアー:優先参加

会員について

個人、学生、団体の3種類で、団体に本研究会の例会に参加するもの(団体は1団体で5名まで参加可能)どれも会員1名の推薦によります。

年会費

- ①会員3000円
- ②学生会員1000円(大学院生を含む)
- ③団体会員 10,000円

会費振込先

ゆうちょ銀行
記号 14040 番号 53254681
ニホンフードツーリズムケンキュウカイ
振込み手数料は自己負担でお願いします。

役員(2015.4.1現在)

代表

尾家建生:大阪府立大学観光産業戦略研究所客員研究員、元大阪観光大学教授

副代表

山川雅行:一般社団法人大阪外食産業協会常任役員
事務局長

佐藤 智子 大阪観光大学
のもと各担当業務代表者で構成される幹事会で運営

事務局

〒590-0493大阪府泉南郡熊取町大久保南5-3-1
大阪観光大学内

ホームページ:<http://www.foodtourism.jp/>
メールアドレス:jimu@foodtourism.jp

日本フードツーリズム 研究会

The Food Tourism Research Society of Japan

ご案内

■フードツーリズム宣言

1.フードツーリズムは、地域ならではの料理を味わうことを求める観光形態であり、土地の味覚を通じて、歴史や文化、景色なども体験し、地域の人々のライフスタイルにふれる旅行スタイルです。

2.フードツーリズムは、観光と味覚の成熟から生まれた新しい観光、ニューツーリズムです。

3.フードツーリズムは、地域にとってその土地の食材と調理による美味しい料理を旅行者に提供することにより、地域の良さを再確認することにつながります。また、このことを通じて、地域経済の活性化にも貢献できます。

4.フードツーリズムは、都市と地方の暮らしを相互に豊かにします。私たちはフードツーリズムをさらに広め、地域の振興につなげていきたいと思えます。そのためフードツーリズムの情報収集と情報発信に努めます。

5.フードツーリズムを全国に広め、日本の食文化を高め、魅力ある観光立国日本を目指しましょう。

(2013.09.14フォーラム「関西の食文化とフードツーリズム」の成果のまとめ)

■関西フードツーリズムMAPの発表



■フードツーリズム研究会フォーラム

「関西の食文化とフードツーリズム」2013.09.14

特別講演「料理が地方を元気にする」

奥田 政行 (アル・ケッチャーノ オーナーシェフ)

パネルディスカッション『関西からフードツーリズムを広めよう』

カタシモワインフード(高井 利洋) や農家レストランと地域活性化や(福野 博昭や)など関西の先進的事例紹介を踏まえ

「大阪の市場と観光」2014.11.24

基調講演「大阪の市場と観光」小田切聡

フォーラム『木津市場の観光まちづくり』

パネリスト:太田雅士・広里貴子・村上喜郁、

コーディネーター:森なおみ

「ガストロノミーとフードツーリズム」2015.02.14

基調講演「ガストロノミーの誕生と発展—なぜフランスにガストロノミーは生まれたのか」

八木尚子(辻静雄料理教育研究所所長)

パネルディスカッション「ガストロノミーとフードツーリズム」

パネリスト:八木尚子、尾家建生、玉置桃子

コーディネーター兼パネリスト:村上喜郁

(SPS科研費24611027の助成報告)

■フードツーリズム研究セミナー

地域における「食文化」は近年、観光振興の重要な要素として注目されています。美味を求める旅は古くからありましたが、観光地域の競争が激化した今日、食文化を抜きにして都市や地方の観光は語れないといってもいいでしょう。又、国際観光においては日本文化への関心が高まり、とりわけ日本食は主要な観光資源として期待されています。

このような状況の中、食と観光の関係を探り、食文化を活用した観光戦略を学ぶ目的で、フードツーリズム研究セミナーは、これまで多彩な分野の方々にご参加いただき、広く意見交換のできる場をめざして開催してきました。

(2014.5.31までの実績24回開催)

